

1 年間計画との関係

教科「奉仕」の時間に、事前学習とともに、地域の清掃活動や近隣小学校5校の下校時の交通安全活動について、学校が近隣との調整を行いながら実施。より広い視野で奉仕について考えるための契機として、企業のCSR活動や、多様な活動をしている方から社会貢献についての話を伺う時間を計画。きてきて先生プロジェクトがプログラム進行方法や講師の紹介、講師との調整、当日進行補助を担当。

2 様々な方から「ボランティア」についてのお話

【支援者 企業CSR担当(3社)、ボランティア活動実践者(地域環境保全NPO、子ども教育支援NPO、キャリア教育支援NPO等)】

7クラスに1名ずつの講師が入る授業を2回開催し、どのクラスも2名の講師と出会えるように設定。ボランティア活動に関わるようになったきっかけや、活動の紹介、今後の夢などについて幅広く語っていただいた。

仕事の中での社会貢献活動や、仕事以外でボランティアをする楽しさ、ボランティアを仕事にした方からライフワークとしての取組について伺うことで、様々なかたちの活動があることを伝えた。これからの人生を豊かにするためでもあるボランティアのあり方を考え、社会の一員として行動する意義について考える時間になればと思います。



1 学びを生かす様々な体験活動の支援

噴火後の三宅島で、植林・野菜植え付け等を行う三宅島緑化プロジェクトを平成16年から実施。その後、学校で学んだ専門的な知識・技術を生かした活動を行なうことを目的に、平成19年度には「バラ園プロジェクト」、平成20年度には「深沢・等々カウオークラリー」を実施。地域住民との交流を大切にしながら、三宅島緑化プロジェクトの報告会やバラ園の一般開放など、活動の幅を広げている。その企画や関係者との連絡調整、交通手段の確保などの支援を行う。

事前打ち合わせを行い、三宅高校生や他の高校生が主役となり、参加する意識を各自がもつような関わりとプログラムになるよう、心がけています



2 三宅島緑化プロジェクト

①事前研修会

- ②三宅島での植樹活動、花壇作成、野菜苗の配布
- ③活動報告会の開催

事前に参加者が一堂に会する事前研修を実施。三宅島では今年度は2回、合計7800本の植樹等の活動を行なった。

班にわかれての活動では、大学生もいる中で高校2年生が班長となり、活動する中で確実に成長しています。

3 地域との交流の企画・実施支援

①バラ園プロジェクト

バラ園の整備を高校生と地域住民で実施

②深沢・等々カウオークラリー

校内の案内や、味噌汁の配布等

③企業との連携事業の講師紹介等

参加者が毎年増え、園芸高校の良さを体験していただけるプログラムとなっています。また、企業との連携授業では、本職の方の指導で通常の授業では得がたい体験を積むことができました。

小川校長からのコメント

本事業を実施して、生徒の瞳は輝き、自らに誇りをもつことができました。それは、講師の方々に惜しめない援助をいただいた実感と職業人の気迫・こだわり直に触れることができたからです。また、NPOと学校の信頼関係も深まりました。生徒は、地域や産業界など多くの大人たちの支援の輪を感じとり、それに応えようとする気持ちも生まれました。関係者の方々に厚く感謝申し上げます。

